

認知症介護指導者の市区町村単位での役割の可能性に関する研究 (概要版)

【目的】認知症介護指導者の市区町村における取り組みの意義や過程について明らかにする

【方法】①八王子市における参与観察(基礎研修)、②群馬県へのヒアリング(活動把握)、③認知症介護指導者への調査(初期集中支援チームとの連携)

【活動例①】認知症介護基礎研修(以下、基礎研修)の実施(八王子市)

(市部で実施する意義)対象者の受講しやすさの向上(会場への移動時間短縮)

(流れ)

月日	イベント
2月16日	基礎研修について市に提案
7月19日	八王子市で打ち合わせ(市・指導者)
7月21日	東京都庁において打ち合わせ(都・市・指導者・研修委託先) ・役割分担について確認、日程がかぶらないよう調整
8月1日	打ち合わせ(市・指導者)・会場について
8月16日	打ち合わせ(市・指導者)・募集要項、プログラムについて
10月2日	基礎研修案内発送 ・10月20日締め切り、決定通知10月30日発送の予定で発送
11月1日	立川での基礎研修視察(市・指導者)
11月15日	基礎研打ち合わせ(市役所)
12月13日	基礎研修実施
2月27日	基礎研修第2回実施

(概要)

- 対象者:八王子市内の介護保険施設・事業所に従事している介護職員のうち、経験年数がおおむね3年未満の方
- 開催場所:八王子市中央図書館(第1回)、八王子市役所(第2回)
- 受講料:無料
- 講師:認知症介護指導者2名
- 事務局:八王子市高齢者福祉課
- 募集方法:対象事業所へのFAX
- 修了証:八王子市長名で作成

*都の基礎研修との日程重複を避けて実施、受講料等も公平性を考慮

(成果)

①**多数の対象者が受講**できた(40名定員に2倍以上の応募⇒急遽受講回を増やして対応)。

②認知症介護指導者とその役割について、八王子市、認知症疾患医療センター、認知症地域支援推進員、地域包括支援センター等への周知ができ、**指導者と地域の連携体制**ができた。

認知症介護指導者の市区町村単位での役割の可能性に関する研究 (概要版)

【活動例②】指導者の地域活動体制構築(群馬県)(指導者修了数:35名、うち活動中24名)

* データ収集: 県へのヒアリング等による

■ 活動促進① 指導者情報の市町村への提供

地域での役割を担うことが可能な認知症介護指導者を事前調査し、公開の承諾を得た**認知症介護指導者の一覧を県内全市町村に配布**。以下の活動を例示。

- 市町村等における研修講師
- 地域住民の方を対象とした認知症の基礎的な理解を深める啓発活動
- 認知症の人を支援する地域関係機関とのネットワーク構築および連携推進のための会議への協力や参画
- 地域における認知症のケースについての関わり方の相談

■ 活動促進② 県から市町村へ介護保険担当課長会議で依頼

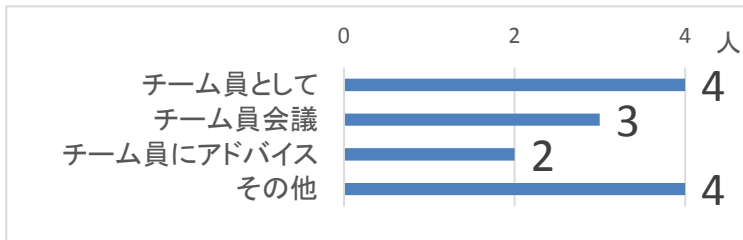
市町村高齢対策・介護保険担当課長会議において、認知症介護指導者が、さらに**地域で活躍できる場の提供を県から市町村担当者に依頼**

■ 活動促進③(検討中) キャラバンメイトとして指導者の派遣

事業実施**キャラバンメイトの資格を持っている認知症介護指導者を市町村に派遣**する事業を、県として予算申請

【活動例③】認知症初期集中支援チームへの関与状況(関東・九州) * データ収集: 指導者ネットを通じてのアンケートによる

■ 認知症介護指導者の関与状況(複数回答)(n=10)



■ 指導者が関与する意義(抜粋)(n=10)

なぜ役立つか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地に行き、認知症に関する生活障害の把握や生活環境を含めたアセスメントが出来る。 ・ 医療的な問題ばかりに目が行ってしまい、認知症の人にとってどうなのか、ということが後回しにされてしまうため ・ チーム員である医者との信頼性を相互に築くコミュニケーション能力にも長けている
何に役立つか	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご本人とご家族への対応・配慮ができ、生活について一緒に考えることができる ・ 認知症の人の想いが会議に出てこないことがあり、視点の軌道修正をすることがよくある。 ・ 各チーム員の認知症に対する下地力のばらつきの補正